

— 伝統を絶やさない —

造り手たちの心意気

夏祭りの名物となっている造り物。7月から打ち合わせを重ね、造り物を製作をしている木山上町の造り手たちのもとを訪ねた。そこには、「先代から受け継がれた益城の伝統を絶やしたくない」という造り手たちの強い思いがあった。

全てが自然のもの

造り物の歴史は古い。山都町の八朔祭りや宇土市の地藏祭りの造り物も有名だが、益城町でも、およそ200年以上も前から作り続けられている。

現在では祭り会場に展示されるようになった造り物も当時は木山商店街の各戸に造り付けられ、その作品は現在のもものより数段大きく、手の込んだものが多かったという。毎年、各組で1つずつ、20組近くの造り物が出展され、観客は一軒一軒を見て回り、それが祭りの最大の呼び物であり、町民の楽しみであった。

先代の造り物にかける姿を物心がつくころからずっと見続けていた造り手たち。子どものころは、材料となる粘土を川に取りに行き、先代の造り物の製作の手伝いをしていた。もともと、五穀豊穡を願って作られていた造り物のその素材は、全てが自然界から採取



町長賞を受賞した造り物作ろう会の「木山城」に見入る観客

されたものだった。今年の造り物には、ゴボウの茎や山芋の蔓、しし唐などの農作物を使用した。

造り物で

夏祭りを盛り上げる

この素晴らしい伝統を絶やしたくない。受け継いでいきたい。と強く語る造り手たち。

「次の世代に造り物を伝えていきたいが後継者がいない。もつと関心を持ってもらい、参加団体を増やしていきたい。いろんな団体やボランティアで造り物を増やし、今の夏祭りを盛り上げていきたい」と語る今年81歳で最年長の吉本源吉さん(上町)。

夏祭りを支える匠たちの郷土愛と造り物にかける強い思いが垣間見えた。

各クラス別優勝チーム

クラス	男子チーム	女子チーム
Aクラス	渡辺・本田ペア(MAX)	米原・丸山ペア(坂本)
Bクラス	馬原・菊池ペア(Be-Voice)	大丸・友清ペア(Team N. M. F)
Cクラス	澤田・農中ペア(Team N. M. F)	穴井・緒方ペア(北部中)
Dクラス	前田・服部ペア(力合)	原田・加藤ペア(Team N. M. F)
Eクラス	坂西・小幡ペア(詫麻西 SC)	杉山・木幡ペア(桜木)

第24回夏祭り協賛
バドミントン大会(80組160人)
開催日 8月7日

開催日 8月2日～11日
優勝 スワローズ
準優勝 福田クラブ
3位 優龍・山中自動車工業

第20回夏祭り協賛
熊日旗争奪ナイター野球大会
(16チーム参加)

協賛スポーツ大会成績